

**製品名:** イオンチャネル型グルタミン酸受容体2 ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab00463

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 99 kDa; Observed MW: 99 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	GRIA2
別名	GRIA2; GLUR2; Glutamate receptor 2; GluR-2; AMPA-selective glutamate receptor 2; GluR-B; GluR-K2; Glutamate receptor ionotropic; AMPA 2; GluA2
遺伝子 ID	2891
SwissProt ID	P42262
免疫原	ヒトイオンチャネル型グルタミン酸受容体2の合成ペプチド

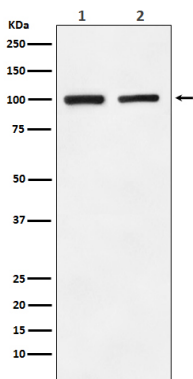
## 背景

イオンチャンネル型グルタミン酸受容体。L-グルタミン酸は、中枢神経系の多くのシナプスにおいて興奮性神経伝達物質として作用する。興奮性神経伝達物質 L-グルタミン酸の結合は、構造変化を誘導し、陽イオンチャンネルの開口を招き、化学シグナルを電気インパルスに変換する。その後、受容体は急速に脱感作し、結合したアゴニストの存在を特徴とする一時的な不活性状態に移行する。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



(1) ヒト胎児脳溶解物、(2) イオンチャンネル型グルタミン酸受容体 2 抗体を用いたマウス脳溶解物中の GluR2 のウエスタンブロット分析。